

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第1区分

【発行日】平成18年4月6日(2006.4.6)

【公表番号】特表2005-538690(P2005-538690A)

【公表日】平成17年12月22日(2005.12.22)

【年通号数】公開・登録公報2005-050

【出願番号】特願2003-571309(P2003-571309)

【国際特許分類】

C 12 N 15/09 (2006.01)

A 6 1 K 39/00 (2006.01)

A 6 1 P 35/00 (2006.01)

C 07 K 14/47 (2006.01)

【F I】

C 12 N 15/00 Z N A A

A 6 1 K 39/00 H

A 6 1 P 35/00

C 07 K 14/47

【手続補正書】

【提出日】平成18年2月20日(2006.2.20)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

配列番号1のアミノ酸配列を有するマウスPTX3誘導体。

【請求項2】

配列番号2のアミノ酸配列を有するマウスPTX3誘導体。

【請求項3】

配列番号3のアミノ酸配列を有するヒトPTX3誘導体。

【請求項4】

配列番号4のアミノ酸配列を有するヒトPTX3誘導体。

【請求項5】

配列番号5のアミノ酸配列を有するビオチン化マウスPTX3誘導体。

【請求項6】

配列番号6のアミノ酸配列を有するビオチン化ヒトPTX3誘導体。

【請求項7】

配列番号7の配列を有するマウスPTX3cDNA。

【請求項8】

配列番号8の配列を有するマウスPTX3cDNA。

【請求項9】

請求項1から6のいずれかのPTX3誘導体をその表面に担持する固形または血液腫瘍の不活化腫瘍細胞を含有する自己ワクチン。

【請求項10】

さらにアジュバントを含む請求項9のワクチン。

【請求項11】

以下の工程からなる自己ワクチンの調製方法：

- 固形または血液腫瘍を患う患者から腫瘍細胞（1000万 - 1億）サンプルを採取する工程；

- 腫瘍細胞を、インビトロで不活化し、その増殖能力を抑制する工程；

- 脂質キレート化剤NTA-DOGSのリポソームで不活化腫瘍細胞を処理する工程；

- さらに腫瘍細胞を配列番号1、2、3または4のアミノ酸配列を有するPTX3誘導体（50 - 500 μg / ml）で処理して、該PTX3誘導体を腫瘍細胞の膜に結合させる工程。

【請求項12】

以下の工程からなる自己ワクチンの調製方法：

- 固形または血液腫瘍を患う患者から腫瘍細胞（1000万 - 1億）サンプルを採取する工程；

- 腫瘍細胞を、インビトロで不活化し、その増殖能力を抑制する工程；

- 100 - 1000ビオチン/細胞にて不活化腫瘍細胞をビオチン化し、それをアビジンとともにインキュベーションする工程；

- 配列番号5または6のアミノ酸配列を有するビオチン化PTX3誘導体（50 - 500 μg / ml）を先の工程の腫瘍細胞の膜に結合させる工程。

【請求項13】

固形または血液腫瘍の不活化腫瘍細胞表面に結合した、請求項1から6のいずれかの誘導体を含む、皮下、静脈内、リンパ節内またはその他の経路によって投与できる腫瘍治療用の自己ワクチン。

【請求項14】

皮下、静脈内、リンパ節内またはその他の経路によって投与できる請求項9または10のワクチンを含む腫瘍治療用組成物。

【請求項15】

皮下、静脈内またはリンパ節内経路によって投与できる請求項11または12の方法によって得られるワクチンを含む腫瘍治療用組成物。